

平成26年度 行政評価事業別シート

	実計対象	<input checked="" type="checkbox"/>	評価対象	<input checked="" type="checkbox"/>	新規	<input type="checkbox"/>	完了事業	<input type="checkbox"/>	ゼロ予算事業	<input type="checkbox"/>	担当者	田中雅明
	全体計画						経費区分		実施計画事業費		内線	3645
事務事業名	4301 農業小学校運営事業											
所 属	300200 教育委員会事務局・子ども課											
施 策	02010800 児童・青少年健全育成の推進											
予算科目	会計	01 一般会計										
	科目	100606 教育費・社会教育費・児童青少年総合対策費										
	事業	040000 農業小学校運営事業										
事業目的						事業概要・効果						
子どもたちが、農業の厳しさや楽しさを体験し、たくましい精神力・創造力などを身につけ、世代間交流を通し、仲間づくりや地域連帯感を養い、地域の文化に触れる。						農業体験により、「農業」の厳しさ、楽しさ、食の複雑さを知ることとあわせ異年齢の子ども達や大人達と触れ合うことによるコミュニケーション能力を身につけ、地域の伝統文化に触れる。						

PLAN-DO

年度実績及び予定

平成22年度 実績	平成23年度 実績
平成24年度 実績	平成25年度 実績
62人の児童が年間の授業を体験し卒業した。	51人の児童が年間の授業を体験し卒業した。
平成26年度 予定	平成27年度 予定
64人の児童が入学した。	

指標名					
算式					
年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
目標値	目標				
	実績				
指標選定の理由					
最終年度目標の根拠					
指標名					
算式					
年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
目標値	目標				
	実績				
指標選定の理由					
最終年度目標の根拠					
指標名					
算式					
年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
目標値	目標				
	実績				
指標選定の理由					
最終年度目標の根拠					

事業費

(単位：千円)

		平成25年度 決 算	平成26年度 予 算
事業費		936	1,122
特定財源	国庫支出金	0	0
	都道府県支出金	0	0
	地方債	0	0
	その他	283	280
一般財源		653	842
人員数(人)	正規職員	0.3	0.3
	嘱託職員	0.4	0.6
	臨時職員	0.0	0.0
人員コスト	正規職員	2,057.4	2,057.4
	嘱託職員	1,090.0	1,635.0
	臨時職員	0.0	0.0
	計	3,147.4	3,692.4
市民一人当たりの経費		0.1	0.1
総額		4,083.4	4,814.4

(単位：千円)

平成25年度決算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
8節 報償費	0	
11節 需用費	289	消耗品費
13節 委託費	500	農地管理運営委託
15節 工事請負費	0	
19節 負担金補助及び交付金	0	
その他	147	

(単位：千円)

平成26年度当初予算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
8節 報償費	0	
11節 需用費	290	消耗品費
13節 委託費	500	農地管理運営委託
15節 工事請負費	0	
19節 負担金補助及び交付金	200	農業小学校交流会開催市負担金
その他	132	

CHECK

個別評価		
項目	評価観点	評価内容
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民の生命・財産を守るため市が実施することが必要不可欠な事業であるか 行政内部の管理運営上必要な事業であるか 市が主体となり実施すべき事業か 法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか 目的は結果（施策の目指す理想）に結びついているか 	普通
評価コメント	必要不可欠ではないが、農業の持っている多面性は子どもたちの成長に影響している。	
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 事業の成果は上がっているか 目標に対する達成度は十分か 市民生活上の課題解決に貢献しているか 行政内部の管理上の課題解決に貢献しているか 事業の目的が達成できるような事業内容になっているか 	普通
評価コメント	事業そのものは有効性があると感じているが、何をもって目標設定し、達成度を測るのか不明。	
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 成果を落とさずにコストを削減する方法はあるか 効率性向上に努めているか 使用料などの受益者負担や補助対象事業の範囲など、財源確保の余地はないか 	悪化
評価コメント	農家先生の高齢化、担い手不足などによる効率性は年々悪化する。反面、入学者は多めに推移しする中でカリキュラムの維持が難しくなっている。	

振り返り（決算年度の取組み課題）

カリキュラムを見直し、充実した授業ができるよう入学者もある程度抑えるなど見直しが必要。

ACTION

1次評価

2次評価

次年度以降の方向性	進め方の改善（縮小）	次年度以降の方向性	進め方の改善（縮小）
総合評価コメント		2次評価コメント	
<p>農家先生の高齢化による今後の確保が課題。 将来的な担い手不足を考慮し、年18回の授業数の見直しも必要。</p>		<p>農業を通じ、食育、郷土食の学びや自分たちのふるさと須坂の良さの再発見など必要な事業ではあるが、地元地区農家先生の負担度が高く、今後の人材確保の問題等からも事業内容の見直しが必要である。</p>	

外部評価

次年度以降の方向性
外部評価コメント